

Rotary



世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE in the WORLD



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 石川 元信

幹 事 谷田部 修

会報・雑誌委員長 田崎 信孝

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算3048号 2024年6月4日(晴れ) 第44回例会 会員数102名

ハイブリッド例会

点 鐘 石川(元) 会長
司 会 副SAA 駒場会員

◇国歌「君が代」

◇ロータリーソング「四つのテスト」

◇本日のランチ 洋定食



ビジター紹介 小林(正) 副会長

◇株式会社 N's Plus

代表取締役 中村 明美 様(卓話者)



会長挨拶 石川(元) 会長

皆様、こんにちは。6月になり、私の方もあと少しになりましたが、一年間ずっと見てきた仏壇の前においてある日めくりカレンダーを、改めて見てみました。火曜日は「笑顔」で、ということです。月曜日は「励み」、ちなみに、水曜日は「怒るな」、ということだそうです。笑顔といえ、6月は親睦月間です。趣味を通してロータリーを楽しみ、また、趣味を通してロータリアンとの絆を繋いで奉仕活動をしていければいいな、と思っています。ある方は、サーフィンが好きで、青少年や身障者の方にサーフィンを教え、サーフィンを通して活動しているそうです。親睦を深めながら奉仕の活動をしていただければと思います。よろしくお願ひいたします。



幹事報告 谷田部(修) 幹事

◇ロータリーレート 6月は1ドル157円。

◇6月5日(水) 18時30分~ つむぎ庵にて石川年度第12回定例理事会開催。

◇6月11日(火) 例会、クラブ定款・細則改正(案)の審議・採決。改正条文案資料のご持参を。

◇今年度の会計の締めは6月18日(火)。未提出の請求書があれば早めのご提出を。

◇R財団より表彰

<PHF>

橋本 統会員

飯泉 修一会員

中山 靖之会員

<マルチプルPHF>

松山 栄会員(1回目)

小林 利延会員(6回目)



委員会報告

◇スマイルボックス委員会

平出委員

野球部有志一同

6月2日(日)に第39回全国ロータリークラブ野球大会に出場しました。対戦相手は愛媛県の今治ロータリークラブで、残念ながら8対6で敗れてしまいましたが、甲子園球場のプレーは格別でした。

小林正明会員

私が指揮をとった宇都宮市消防団第六分団が、令和6年宇都宮市消防操法大会で優勝しました。6名の選手の内3名が新人でしたが、頑張ってくれたお陰で、消防団入団以来約25年、はじめての金メダルを獲れました。

◇社会奉仕委員会

手塚委員長

5月31日(金)、午後2時より宇都宮市役所において、宇都宮市つながりサポート女性支援事業への地区補助金を用いた支援事業の目録授与式が無事に終わりました事をご報告致します。石川会長、谷田部幹事、床井副委員長お疲れ様でした。

次に5月20日(月)の例会で、会員の皆様をお願いをさせて頂きました、東日本盲導犬協会創立50周年のクラウドファンディングは皆様の御支援のおかげで、目標金額を達成出来たと宮下

浩会員からご報告がありました。ありがとうございました。

◇親睦委員会 中山副委員長

<誕生祝い・6月>

会員誕生

飯村 尚志、木下 仁志、黒崎 定美、
中山 靖之、岡田 孝司、末永 義雄、
手塚 正智、山崎 盛美

各会員

夫人誕生

青木 格次、平出 直、門倉 秀夫、
金澤 正英、金田 剛、片嶋 常隆、
川村 壽文、熊倉 秀樹、鈴木 明、
上野 初雄

各会員の奥様

社の新規事業で、アクアポニックスに出会いました。接客業が好きで人からはじまり、建設会社でいろいろな知識やノウハウをいただき、そして、新しいアクアポニックスに出会った時に、地域のためにアクアポニックスを広げたい、地域のための仕事がしたい、という思いが強くなり、株式会社 N's Plus を立ち上げました。アクアポニックス、野菜ブーケ、イベント、3つの柱で事業をさせていただいております。

アクアポニックスは造語で、生き物の力を活かした水産養殖 (Aquaculture) と水耕栽培 (Hydroponics) を組み合わせた食料生産の技術です。泳いでいる魚の排泄物を微生物が栄養豊富な天然の肥料に変換し、それを野菜が吸収して、水がろ過を通ることによって浄化され、魚のところにきれいな水が戻ります。水を変えることなく、循環型で魚と野菜の両方を育てることができる仕組みです。生産性と環境配慮の両立、持続可能な社会の実現が可能なのではないかと考えております。副次的な効果の植物や生物に囲まれていることで得られる自然の喜び、幸福感を、地域の資源と掛け合わせることによって、何か活用できるのではないかと考えております。SDG s への貢献にも繋がると考えております。アクアポニックスは教科書にも仕組みが載っており、SDG s や生態系の勉強、情操教育、癒し効果など含めて、取り入れられてきております。

弊社では、地元の特性を活かして、いろいろな施策を提案し、活用できるよう、体制を整えて活動しております。取り組みとして、

- ・就労継続支援B型の作業所に装置を設置。チョウザメとテラピアなどで、野菜の栽培を行う。
- ・なかがわ水遊園やイベント等で展示。
- ・栃木県の食育応援団として学校や図書館等で仕組みについてのイベント開催。

弊社の事務所では、展示用としての水槽で、やしおますで試行を行い、1年半以上水をかえることなく、野菜とやしおますが元気に育っています。海のない栃木県だからこそ、水産と農業を組み合わせることができないか。地元のやしおますやいちご等を組み合わせたコミュニケーションツールのようなものをつかって、地元のPR、最終的には農業へと繋がることができてほしいという思いでおります。他県での取り組みですが、弊社と同じ仕組みを活用して、実際に野菜を栽培して、スーパー等で販売しているところもございます。

もうひとつ、ベジブーケのクリエイターという、野菜でつくるブーケの事業も取り入れております。目で見て楽しい、食べて美味しい、地元の野菜の活用をしています。最初は、アクアポニックスという付加価値のついた野菜を、少しでも価値



卓 話

「～持続可能な社会を目指して～アクアポニックスとベジブーケ®で行う地域資源の活用」



株式会社 N's Plus

代表取締役 中村 明美 様

皆様、こんにちは。本日は、(株)メディア・システムの野添様にお声掛けいただき、このような機会をいただきまして、誠にありがとうございます。本日は、「～持続可能な社会を目指して～アクアポニックスとベジブーケ®で行う地域資源の活用」についてお話させていただきます。

ー パワーポイントにて説明 ー

はじめに、弊社の紹介をさせていただきます。弊社は2022年9月に創業致しました。企業の理念は「人と人とのつながりを大切に自然と人の共存できる社会を目指す」です。現在、魚で野菜を育てるアクアポニックスという仕組みとベジブーケという野菜でつくるブーケを通して、地域の資源を活用できないかと考えております。

簡単に自己紹介させていただきます。私はもと、ホテル業の勉強をしており、ホテルマンに。そこから、縁があって建設会社に転職して、28年間勤めました。事務員で入ったのですが、コンクリート技師等の資格を取得し、現場等いろいろなポジションを経験させていただき、そして、会

をつけて販売できないか、と考えている中で、野菜ブーケの技術に出会いました。他県ではなかなか野菜ブーケを通年で販売しているところはないのですが、有機農家さんや地元の生産者さんの協力を得て、通年での販売、また、9割の野菜を有機野菜や無農薬で対応することができている状態です。地元の野菜、農業が抱えている課題をベジブーケで解決できないだろうかということで、地元の生産者の方と様々な食育活動等、取組みをさせていただいております。取組みとして、

- ・会場を地元の野菜で装飾
- ・宇都宮ブリッツェンの競輪場のレースで、優勝者に地元野菜でできたデジトロフィー贈呈
- ・ロマンの湯の入場者555万人イベントで地元野菜を使用したデジブーケのプレゼント。
- ・食育応援団として、ワークショップを開催し、子ども達に地元の野菜について説明。

イベントの事業では、地域の野菜についてのPRをいろいろなイベントの中で取組ませていただいております。去年は、焼き芋フェスタでさつまいもを使った企画が好評でした。

弊社の活動ははじまったばかりですが、地域資源の活用を単発ではなく、生産者の方と生活者の方、そして社会を繋いで継続することが何かできないだろうかと日々考えております。持続可能な社会のために、毎日の生活の中に取り入れられるようになってほしいという思いです。株式会社N's Plusは、人と人とのつながりを大切に、地元の先人達の知恵と新たな技術を融合させ、地域資源の活用を目指していきたくと思っています。皆様からのご助言、お力添え、どうぞよろしくお願いたします。